

一般社団法人 日本木材地中活用推進協会

—地中の森がつくる安全安心社会—

災害対策と大気からの二酸化炭素削減のメカニズム



① 樹木を伐採し丸太にして運搬します

大きくなった樹木を伐り出し、丸太にします。丸太には、大気から取り込んだ炭素（C）がたくさん溜まっています。B材や虫食い材も使え、歩留りの向上に貢献します。

② 丸太を使います【炭素を貯蔵】

丸太を地中に打ち込み、軟弱な地盤を強くし、建物の沈下・傾斜や液状化による被害を防ぎます。打ち込まれた丸太は、都市部で地中の森となって炭素（C）を長期間地中に貯蔵します。炭素貯蔵に新たなエネルギーやコストを必要としません。

③ 森林整備を進めます，再造林します

間伐により持続可能な林業に貢献します。空いた土地に植林します。

④ 樹木が成長します【CO₂を回収・固定】

樹木は、太陽の光を浴びて光合成により、二酸化炭素（CO₂）を吸い込み、炭素（C）を体に取り込み、酸素（O₂）をはきだしながら成長します。取り込んだCが増える分、大気からCO₂を回収できます。

①～④のサイクルで、大きなコストやエネルギーを使わずに、大気中のCO₂を削減できます。

協会のコンセプト

気候変動緩和、森林の多面的機能の向上、安全安心社会の構築

【環境対策】

木材の長期大量利用
材料代替省エネルギー効果
炭素貯蔵効果

【建設事業の実施】

軟弱地盤対策
液状化対策
災害低減

木材の地中活用
(木材を活用した軟弱地盤対策)

一般社団法人日本木材地中活用推進協会は、木材の地中活用を推進し、気候変動緩和、森林の多面的機能の向上、安全安心社会の構築に貢献していきます。

- 建設事業で軟弱地盤対策や液状化対策を実施
- 木材の活用で化石燃料使用量を削減（材料代替省エネルギー効果）
- 木材の長期大量利用で炭素貯蔵（炭素貯蔵効果）



一般社団法人 日本木材地中活用推進協会

〒110-0005 東京都台東区上野 5-5-10-202 TEL 070-5469-0902

E-mail daihyo@mokuchikyo.or.jp URL <https://mokuchikyo.or.jp/>

